

終了

住宅の省エネルギー設計を速やかに理解し実践できる

## 「自立循環型住宅設計講習会 温暖地版」

より高度な理解の為に

## 「自立循環型住宅設計講習会 温暖地版 詳細講習(既受講者対象)」

### 開催のご案内

一般財団法人建築環境・省エネルギー機構（東京都千代田区 理事長 村上周三）は、設計者や居住者の省エネルギー意識の高まりを受け、省エネルギー住宅の設計等実務に携わる人を対象に平成 27 年夏から開催している講習会「自立循環型住宅設計講習会 温暖地版」を、平成 28 年 11 月から平成 29 年 1 月にかけて開催順に福岡・東京・名古屋・大阪の全国 4 都市で開催いたします。

また、講習会受講者からの多くの要望にお応えして、初めての試みとして「自立循環型住宅設計講習会 温暖地版」の既受講者を対象に、執筆関係者が時間をかけて設計手法や省エネルギー効果推計の根拠を詳細に説明し、受講者からの質疑も積極的に戴きながら理解を更に深めて戴く「自立循環型住宅設計講習会 温暖地版 詳細講習」を、平成 29 年 1 月に東京で 3 日間をかけて開催いたします。（1 日毎の参加も可能です。）

「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」が公布され、2020 年の建築物省エネ基準義務化を控えた今、住宅を設計・施工されている工務店等の実務者のスキルアップ、社員研修として、また、住宅・建材・設備・ゼネコン・不動産・家電・エネルギー供給事業者や地方公共団体の住宅担当の方々の多数ご参加をおすすめいたします。

本講習会を通じて住宅の省エネルギー性能の向上と快適な住まいが広がることを期待しています。

『自立循環型住宅』とは、特殊な技術や未完成の技術を用いることなく一般的に入手できる手法・技術の組み合わせで、居住性や利便性の水準を向上させつつも、住宅の居住時のエネルギー消費を 50%削減することを目指した住宅であり、その研究は国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所と共同で進めてきたもので、その成果は住宅事業建築主の判断基準や低炭素建築物の認定基準、平成 25 年改正省エネルギー基準に関する技術情報やプログラムにも活用されています。

使用するテキスト『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は、平成 25 年に改正された省エネルギー基準の一次エネルギーによる住宅のエネルギー消費量評価方法の実施を踏まえ、省エネルギー手法と効果の関係を改定するとともに、最新の研究成果を数多く取り入れた約 470 ページの充実した資料です。これからの省エネルギー住宅の設計手法を理解する上で、全国の住宅実務者の皆様にとって、受講戴き理解を深めて戴きたい有益な情報を掲載しています。

講習会では、「自立循環型住宅が目指す室内環境性能」「設計プロセス」「自然エネルギー活用技術（通風・昼光利用・太陽光発電・太陽熱利用（蓄熱・屋根空気集熱・太陽熱給湯）」、「建物外皮の熱遮断技術（断熱・日射遮蔽）」、「省エネルギー設備技術（暖冷房・換気・給湯・照明・家電・コージェネおよび水・ごみ処理）」、「省エネルギー効果の評価と設計における活用」について、有効な省エネルギー手法とその効果を紹介し、省エネルギー住宅を設計する際のポイントや一次エネルギー消費量を用いた住宅全体のエネルギー消費量の計算方法などについて、また詳細講習ではそのうち第 3 章から第 5 章までの要素技術「自然エネルギー活用技術」「建物外皮の熱遮断技術」「省エネルギー設備技術」（今回は水・生ごみの利用は除く計 1 4 要素）」について時間をかけて解説いたします。

なお、この『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は講習会受講者のみの配付となっており、一般には販売致しておりません。（※詳細講習は、既受講者を対象とし、ガイドラインの配付はございません。）

## 開催概要

○名称：自立循環型住宅設計講習会 温暖地版及び詳細講習

○主催：一般財団法人建築環境・省エネルギー機構

○日時・会場・定員：※開場は各会場とも開始 30 分前を予定しております。

### <温暖地版>

福岡会場（50名）	平成 28 年 11 月 16 日(水) 10:00~17:00 天神クリスタルビル Aホール（福岡市中央区天神 4-6-7）
東京会場（100名）	平成 28 年 12 月 1 日(木) 10:00~17:00 建築会館ホール（港区芝 5-26-20）
名古屋会場（60名）	平成 28 年 12 月 12 日(月) 10:00~17:00 ウインクあいち 会議室 1202（愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38）
大阪会場（60名）	平成 29 年 1 月 6 日(金) 10:00~17:00 大阪国際会議場 会議室 1202（大阪府大阪市北区中之島 5-3-51）

### <温暖地版 詳細講習>

	※3日間をかけて開催いたします。但し興味のある内容やご都合により、1日単位で申込が可能です。また参加人数によって、近隣の会場に変更となる可能性があります。
1日目（40名）	平成 29 年 1 月 11 日(水) 10:00~17:00 厚生会館ホテル 青竹・紅梅の間（東京都千代田区平河町 1-5-9）
2日目（40名）	平成 29 年 1 月 12 日(木) 10:00~17:00 厚生会館ホテル 青竹・紅梅の間（東京都千代田区平河町 1-5-9）
3日目（40名）	平成 29 年 1 月 13 日(金) 10:00~17:00 厚生会館ホテル 青竹・紅梅の間（東京都千代田区平河町 1-5-9）

○受講料：

<温暖地版> 15,000 円/1 名・1 会場（テキスト・消費税込）

※使用テキスト『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』

（当日欠席された場合、テキストや配付資料等の送付はいたしませんのでご注意ください。）

<温暖地版 詳細講習> 3日間通し料金 30,000 円/1 名（消費税込）

1日毎の料金 12,000 円/1 名・日（消費税込）

※詳細講習は平成 27 年 8 月以降、当日までに開催された『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン（緑色の表紙のテキスト）』講習会受講者に限ります。詳細講習では『温暖地版 自立循環型住宅への設計ガイドライン』は配付されませんので、当日ご持参をお願いいたします。

○講師：自立循環型住宅の研究に係わった、国・公共の研究機関・大学の先生の有識者など。

## 受講申込方法

1. 下記の銀行口座に、振込もしくは郵便振替（郵便振替の場合、下記※も参照のこと）
2. 振込後、別紙受講申込書に金融機関発行の払込金受領書、または銀行送金帳票など入金内容のわかるもののコピーを添えてメールもしくはFAXにて送信してください。（振込手数料は貴社にてご負担下さい。申込書類は複数枚での送信になっても構いません。）  
※複数名でのご参加の場合は、まとめてお振込みいただいても構いません。

### ○銀行振込

銀行名	三井住友銀行 東京公務部（店番号 096）
預金種目	普通預金 口座番号 22593
受取人	イバンダ イナソノ カザカチヨウカキキョク 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

### ○郵便振替

加入者名	一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構
口座番号	00190-8-131243

※郵便振替用紙の通信欄に、必ず「自立循環型住宅設計講習会」と明記してください。また、払込人住所氏名を必ずご記入ください。

## 申込み・問い合わせ先

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構  
住宅研究部 今井 宛

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1  
全共連ビル麹町館 2F

○電話：03-3222-6946

○FAX：03-3222-6100

○電子メール：jiritsu1@ibec.or.jp

## 注意事項

- 講師は、急な都合により変更となることがあります。予めご了承下さい。
- お申し込みは先着順で定員になり次第締め切ります。予約は受け付けておりません。
- 納入された受講料は原則として返金致しません。但し、定員の都合上お断りする場合は返金いたします。
- 行政の方で請求書発行を希望される場合は、事前に左記までお申し出下さい。
- 領収書は、金融機関が発行する振込金受領証等をもって領収書に代えさせていただきます。
- 受講票は申込受理後にメールにて送付させていただきます。
- 当日欠席された場合、テキスト等の資料送付はいたしません。

## 受講により得られる証明等

1. 本講習会は、建築 CPD（継続能力／職能開発）情報提供制度の認定プログラムです。本制度は建築関連団体により構成される建築 CPD 運営会議が実施するもので、内容については、（一財）建築技術教育普及センターホームページ <http://www.jaeic.or.jp/kenchikuicpd.htm> をご覧ください。なお、本講習会は受講資格を設けておりませんので、関心のある方はどなたでもご参加いただけます。なお単位は 6 単位となります。
2. 当日講習会を受講された方には、受講修了証を発行いたします。受講修了証の発行には全プログラムの受講が必要となります。

## プログラム

＜温暖地版＞ ※プログラムは当日の講師により順番が前後する場合がございます。

I	自立循環型住宅と省エネルギー
II	自立循環型住宅の設計プロセスと要素技術の概要
III	自然エネルギー活用技術（要素技術の適用手法・1）
	1）自然風の利用・制御
	2）屋光利用（太陽光の利用・1）
	3）太陽光発電（太陽光の利用・2）
	4）日射熱の利用（太陽熱の利用・1）
	5）屋根空気集熱式ソーラーシステム（太陽熱の利用・2）
IV	建物外皮の熱遮断技術（要素技術の適用手法・2）
	1）断熱外皮計画 2）日射遮蔽手法
V	省エネルギー設備技術（要素技術の適用手法・3）
	1）暖冷房設備計画
	2）換気設備計画
	3）給湯設備計画
	4）照明設備計画
	5）高効率家電機器の導入
	6）コージェネレーションシステムの導入
7）水と生ゴミの処理と効率的利用	
VI	省エネルギー効果の評価と設計における活用

＜温暖地版 詳細講習＞ ※プログラムは当日講師により順番が前後する場合がございます。（日程を跨っての変更はありません。）  
また、講師は既に依頼済ですが、万が一やむを得ない事情により講師が他の執筆関係者に変更になる場合がございます。

1 日目 平成 29 年 1 月 11 日(水) 10:00~17:00

自然エネルギー活用技術（要素技術の適用手法・1）	
4）日射熱の利用（太陽熱の利用・1）	講師：桑沢保夫氏（国立研究開発法人建築研究所）
建物外皮の熱遮断技術（要素技術の適用手法・2）	
1）断熱外皮計画	講師：齋藤宏昭氏（足利工業大学）
2）日射遮蔽手法	講師：澤地孝男氏（国土技術政策総合研究所）
省エネルギー設備技術（要素技術の適用手法・3）	
1）暖冷房設備計画	講師：三浦尚志氏（国立研究開発法人建築研究所）

2 日目 平成 29 年 1 月 12 日(木) 10:00~17:00

自然エネルギー活用技術（要素技術の適用手法・1）	
5）屋根空気集熱式ソーラーシステム（太陽熱の利用・2）	講師：赤嶺嘉彦氏（国土技術政策総合研究所）
6）太陽熱給湯（太陽熱の利用・3）	講師：前 真之氏（東京大学大学院）
省エネルギー設備技術（要素技術の適用手法・3）	
3）給湯設備計画	講師：前 真之氏（東京大学大学院）
2）換気設備計画	講師：田島昌樹氏（高知工科大学）
6）コージェネレーションシステムの導入	講師：前 真之氏（東京大学大学院）

3 日目 平成 29 年 1 月 13 日(金) 10:00~17:00

自然エネルギー活用技術（要素技術の適用手法・1）	
1）自然風の利用・制御	講師：西澤繁毅氏（国立研究開発法人建築研究所）
2）屋光利用（太陽光の利用・1）	講師：三木保弘氏（国土技術政策総合研究所）
3）太陽光発電（太陽光の利用・2）	講師：堀 祐治氏（富山大学）
省エネルギー設備技術（要素技術の適用手法・3）	
4）照明設備計画	講師：三木保弘氏（国土技術政策総合研究所）
5）高効率家電機器の導入	講師：堀 祐治氏（富山大学）